

## はじめに

本書は、科学研究費（基盤研究 A）「コミュニティ・ガバナンスと社会教育福祉システムの構築に関する欧米とアジアの比較研究」（研究代表者・松田武雄）において 4 年間、調査研究してきた成果のまとめである。このプロジェクトは、2011 年度まで行う予定であった「社会教育・生涯学習の再編とソーシャル・キャピタルに関する実証的研究」（科学研究費（基盤研究 B））の後継プロジェクトである。後者の研究は 2011 年度までの 4 年間のプロジェクトであったが、幸い科学研究費（基盤研究 A）が採択されたため、2010 年度までで終了し、そのまとめを 2012 年 3 月に『社会教育・生涯学習の再編とソーシャル・キャピタル』という著書として刊行した（大学教育出版）。

基本的な問題意識は、コミュニティ（地域社会）において、社会教育・生涯学習を通じていかにソーシャル・キャピタルを形成することができるのか、逆にソーシャル・キャピタルを形成することができるような社会教育・生涯学習はどのように再構築できるのか、という点にあり、この問題意識は現在のプロジェクトにも引き継がれている。

現在の国や自治体の財政危機のもとで、社会教育・生涯学習は行政的に後退を余儀なくされている。社会教育職員や予算の削減、社会教育施設の廃止、指定管理者制度の導入に伴う混乱、社会教育（生涯学習）行政の教育委員会から首長部局への移管など、社会教育・生涯学習の行政は戦後最大の危機を迎えていると言ってよい。

しかし、日本の社会教育・生涯学習は、あまりにも行政に依存し過ぎてきたことも確かである。ヨーロッパの多くの国々では、市民が主体となった民衆教育あるいは成人教育が発展し、それに対して行政が支援するという歴史的な関係性がつくられてきた。日本でも、最近ようやく市民が主体となり行政との協働関係を構築するという有り様がみられるようになってきた。

今回のプロジェクト研究では、コミュニティにおける市民のガバナンスを基盤に、社会教育と福祉を統合した社会教育福祉という領域を構想して、現代のリスク社会、貧困社会に抗することができるような社会教育（社会教育福祉）のシ

システムを構築するためにどうすれば良いのか、という問題意識を持って取り組んでいる。そのために、日本、韓国、中国、中央アジア、東南アジア、ドイツ、スウェーデン、フィンランド、イギリス、スコットランド、アメリカ、という国々・地域の比較研究を行い、社会教育福祉のイメージをふくらませていきたいと考えた。実際、アジア諸国では、社会教育と福祉が融合したような活動が行われている地域が多く存在するし、ドイツや北欧等のヨーロッパ諸国では、社会教育学という学問領域が困難を抱えた人達に対して教育的福祉的な支援を行っている。

海外の多様な動向を参照しながら、身近な地域からソーシャル・キャピタルを培っていきけるような社会教育福祉システムを構想し、新たな社会教育・生涯学習の理論的な枠組みを構築していくことが本研究の目的である。

そのために、それぞれの国や地域を調査するとともに、定例研究会と毎年1回ずつ国際会議を開催してきた。第1回はスウェーデンの研究者を招いて研究討議を行い、第2回はフィンランドの研究者を招いて研究討議を行った。第3回はほぼ全員でドイツに行き、マインツ大学で大規模な国際会議を開催した。日本、ドイツ、フィンランドの研究者が集まり、2日間、社会教育学と社会教育に関する濃厚な議論が行われた。第4回は、サンクトペテルブルクで開催され（ロシア国立法科大学の主催）、主として青少年に対する社会教育学について議論がなされた。さらに、国際会議でのプレゼンテーションと討論の内容を中心に、報告集「コミュニティ・ガバナンスと社会教育福祉」第1～第3集を刊行した。このような国際会議でのプレゼンテーションの内容は、本書に反映されている。

かつて教育福祉は、子どもの教育と福祉の権利保障論として提起されたが、本書で言う社会教育福祉は、コミュニティにおける社会教育と福祉が融合もしくは統合した教育福祉的機能論として提起している。この点が両者の大きな違いである。

その機能の表出は各国・地域において多様であり、それぞれの国・地域で社会教育福祉と呼べるような現象と理論の諸相と課題を描き、コミュニティという視点を軸に置いて比較研究としたが、現時点で社会教育福祉概念について包括的に理論化して定義づけることはできなかった。今後引き続き課題としたい。

本書を出版するにあたり、大学教育出版の佐藤守社長に大変お世話になりました

た。また、編集部の安田愛さんには編集作業でいろいろとご迷惑をおかけしました。お二人に深く感謝いたします。

2015年3月

松田武雄



社会教育福祉の諸相と課題  
—— 欧米とアジアの比較研究 ——

---

目次

はじめに	…………… (松田武雄) ……	i
------	-----------------	---

## 序章 社会教育福祉の諸相と課題

—— 欧米とアジアの比較研究 ——	…………… (松田武雄) ……	1
-------------------	-----------------	---

Diverse Aspects and Issue of Social Pedagogy  
— Comparative Study between Western and Asian Countries —

はじめに 1

1. 社会教育と福祉の入れ子的構造 3
  - (1) 社会教育と福祉の歴史的関連構造 3
  - (2) 社会教育福祉の機能を担う公民館 5
2. ヨーロッパの社会教育学 7
  - (1) 社会教育学の広がりとは定義の難しさ 7
  - (2) 社会教育学の現代的な概念 10
3. 地域における社会教育福祉実践の創出 12
  - (1) 公民館と地域福祉が融合した活動 — 鳥根県松江市 12
  - (2) 社会教育福祉の拠点としての市民福祉センター — 北九州市 14
  - (3) 身近な地域での公民館と福祉ひろばの活動 — 松本市 15
4. おわりに 17

## 第1章 新たな共同が取り組むコミュニティ・エンパワメントの手法

…………… (石井山竜平) …… 21

Methods of Community Empowerment through New Cooperation in Community

1. 厳しさを機に生みだされる「新たな共同」 21
2. 東沢地区における地区計画 22
  - (1) 都市・消費者との交流をてこに農村の付加価値を高める 22
  - (2) 行政計画を補完する地域の行動の計画化 23
  - (3) 地区計画を実働しうる地域事業主体へ 25
3. 吉島地区における人材育成計画 27
  - (1) 3年の話し合いをかけて導き出した地縁組織改革 27
  - (2) 地域活動に次世代が育つ道筋を組み込む 29
4. 「新たな共同」がつくりだす学びと育ち 32

- (1) 行政と対等・協力関係をもてる自立的地域事業体であるために 32  
 (2) 「新たな共同」で展開されている学習 34

## 第2章 日本の都市近郊団地にみる社会教育と社会福祉の結合

…………… (上野景三) …… 37

Combination of Social Education and Social Welfare in a City Suburban Housing Complex in Japan

1. 都市近郊団地における社会教育と社会福祉の結合 37
2. 国のコミュニティ政策の動向 39
3. 都市再生機構 (UR) の取り組み 44
  - (1) UR 賃貸住宅ストック再生・再編方針 44
  - (2) 団地マネージメント・団地マネージャー制度 45
  - (3) UR の団地再生策の特徴 46
4. 集合住宅にみる社会教育と社会福祉の結合 46
  - (1) 大牟田市新地地区公営住宅にみる地域交流施設 47
  - (2) 兵庫県武庫川団地の団地マネージャーの取り組み 48
  - (3) 福岡市博多区美野島公民館・佐賀市循誘公民館の高齢者教育事業 49
5. おわりに 51

## 第3章 韓国における教育福祉と生涯教育 …………… (李 正連) …… 53

Educational Welfare and Lifelong Education in Korea

はじめに 53

1. 「教育福祉」概念をめぐる論議 54
2. 教育福祉政策と地域教育ネットワークづくり 56
  - (1) 社会格差の拡大と「教育福祉優先支援事業」 56
  - (2) 地域を基盤とする官民協働の教育支援ネットワークづくり 59
3. 教育福祉支援と地域共同体の構築 61
  - (1) 清州地域における「共に生きる私たち」の取り組み 61
  - (2) ソウル市蘆原地域における「蘆原教育支援センター・ナラニ」の取り組み 63

おわりに 64

## 第4章 生活実感に寄り添う社区教育へ

——上海市の社区教育を一例に——…………… (牧野 篤) …… 67

Community Education (*She-qu jiaoyu*) and Residents' Autonomy in China

序 教育と統治のリアリズム：社区教育への視点 67

1. 統治と教育：社区教育の二つのアプローチ 68

(1) 社区教育政策化の背景 68

(2) 統治志向のアプローチ 69

(3) 教育志向のアプローチ 70

2. 社区教育のジレンマ 71

(1) 「社区」概念の転化 71

(2) 自治志向的アプローチへ 72

(3) 統治と自治のせめぎ合い：社区教育行政のジレンマ 73

3. 市民が迫り出す社区教育の現場 75

(1) 社区教育の二重の三層構造 75

(2) 行政サービス提供から福祉の創造へ 76

(3) 福祉から社区自治へ 80

結び 生活実感に寄り添う社区教育へ 82

## 第5章 香港の社会福祉と生涯教育 …………… (肖 蘭) …… 84

Social Welfare and Lifelong Education in Hong Kong

はじめに 84

1. 香港の社会政策と社会福祉事業の展開 85

2. 香港の生涯教育と非政府組織の取り組み 87

3. 非政府組織による青少年支援事業とソーシャルワーカーの役割 92

(1) 香港の青少年問題 92

(2) 明愛長洲青少年総合サービス 96

おわりに 101

## 第6章 東南アジア諸国におけるノンフォーマル教育と地域福祉の融合 —— カンボジア、ラオスの事例 —— …… (益川浩一) … 103

Fusion of Non-formal Education and Community Welfare in Southeast Asia Countries  
— Cases in Cambodia and Laos —

1. アジア太平洋地域諸国の現状と人びとの学習活動 103
2. カンボジアにおけるノンフォーマル教育と CLC 104
  - (1) カンボジアの概要と CLC の設立 104
  - (2) カンボジアにおける CLC の設立過程 105
  - (3) CLC の学習・活動実践 107
  - (4) シェムリアップ州チョンクニア村の CLC 活動 108
3. ラオスにおけるノンフォーマル教育と CLC 108
  - (1) ラオスの概要 108
  - (2) CLC の設立過程 109
  - (3) CLC の学習・活動実践 109
4. CLC の学習活動に参画した学習者の声 111
5. カンボジア・ラオスの CLC における学習・活動実践の類型化の試み 112

## 第7章 ウズベキスタンにおける社会教育と社会福祉 …………… (河野明日香) … 117

Social Education and Social Welfare in Uzbekistan

- はじめに 117
1. ウズベキスタンにおける「社会」「社会的」「教育」の意味 118
  2. ソ連期およびソビエト後のウズベキスタンにおける社会教育 120
    - (1) ソビエト期のウズベキスタンにおける社会教育 120
    - (2) ソビエト後のウズベキスタンにおける社会教育 123
  3. ウズベキスタンにおける社会教育と社会福祉 124
    - (1) 現在のウズベキスタンにおける教育行政と福祉行政 124
    - (2) 人々の生活空間における教育と福祉 125
    - (3) マハッラにおける社会教育と社会福祉の課題 129
- おわりに 130

## 第8章 Social Pedagogy とコミュニティ教育

…………… (宮崎隆志) …… 133

Social Pedagogy and Community Education

はじめに 133

1. イギリスにおける Social Pedagogy の受容動向 134
  - (1) Social Pedagogy への関心の高まり 134
  - (2) イギリスにおける Social Pedagogy の位置と意味 136
  - (3) イギリスから見た Social Pedagogy の特質 138
  - (4) 小 括 141
2. コミュニティ教育の射程 — スコットランドを中心に — 141
  - (1) コミュニティ教育の展開 141
  - (2) コミュニティ教育 (CLD) の学習論 144
3. Social Pedagogy とコミュニティ教育 (CLD) の統一的把握のために 146
  - (1) 共通性 146
  - (2) 差異性 147
  - (3) 統一的把握の課題 147

おわりに 148

## 第9章 ドイツにおける社会教育学

—— 教育科学的伝統の観点からの提唱 ——

…………… (Franz Hamburger) …… 150

原文：ドイツ語：Sozialpädagogik in Deutschland. Eine Darstellung aus der  
Perspektive erziehungswissenschaftlicher Tradition

Socialpedagogy in Germany

— Description from Perspective of the Educational Tradition —

はじめに 150

1. 社会教育の概念 150
2. 歴史的側面 156
3. 社会システムとしての総合社会活動 158
4. 総合社会活動の実践 161
5. 理論への反省 162

6. まとめ 165

参考資料：社会教育、ユースワーク関係専門職養成資料 167

**第 10 章 スウェーデンの社会教育学** …… (Lisbeth Eriksson) … 171  
Social Pedagogy in Sweden

1. 専門的な職業としての社会教育学 171
2. 学問分野としての社会教育学 174
3. 研究分野としての社会教育学 175
4. 社会教育学の理論的な理解 176
5. 社会教育学についての普遍的・個別的言説 176
6. 普遍的言説 177
7. 個別的言説 178
8. 3つの社会教育学的モデル 180
9. スウェーデンにおける移民に対するシティズンシップ教育の方法  
— 社会教育学的な実践としての民衆成人教育 182
10. 教師の記述 184
11. まとめ 188

**第 11 章 学問分野と職業的実践としての社会教育学の発展**  
— フィンランドの事例から学ぶこと —

…………… (Juha Hämäläinen) … 190

Developing Social Pedagogy as an Academic Discipline and Professional Practice  
— Learning from Finnish Experience —

はじめに 190

1. 教育分野としての社会教育学の発展 191
2. 職業的実践としての社会教育学 194
3. 教育制度内における社会教育学の位置づけ 197

4. 社会教育学の専門性の本質 200
5. 「地域教育者 (community pedagogues)」と「ソーシャルケアワーカー (social care workers)」 204
6. おわりに 205

## 第 12 章 民衆大学と協働するドイツ公民の家 …… (大串隆吉) … 209

A Townhouse in Germany which cooperates with an Adult Education Center

はじめに 209

1. 地区協議会と公民の家 210
2. 公民の家の発端 211
3. 公民の家と民衆大学 213
4. 専門職が配置されている 217
5. まとめ 220

## 第 13 章 参加、教育と社会教育学

—— スウェーデンにおけるロマ民衆大学の事例 ——

…………… (Marie Westerlind) … 224

Participation, Education and Social Pedagogy

— the Case of a Romani Folk-High School in Sweden —

1. 社会教育的実践の発展 225
2. ロマ民族と教育 228
3. スウェーデンの民衆大学 229
4. アグネスベリィ民衆大学 230
5. オルタナティブ教育の一つのあり方 231
6. 参加、認識と社会的包摂 232
7. 通過点としての教育と目的 234

## 第 14 章 スウェーデンにおけるセツルメント運動の歴史と現在 —— 民間団体による地域福祉と教育文化活動 ——

…………… (太田美幸) …… 238

The Settlement movement in Sweden

— Voluntary organization for education and social services in the welfare state —

1. ローカル・デモクラシーと社会教育福祉  
— ヘムゴード (セツルメント) 運動への着目 — 238
2. フェレーニングと民衆教育 239
3. 余暇リーダーの役割 241
4. ヘムゴード運動の展開と衰退 243
5. ヘムゴードの現代的意義 247
6. 社会教育福祉の担い手 251

## 第 15 章 アメリカにおける就業支援とソーシャル・サービス

—— 公共図書館の取り組みを中心に —— …… (藤村好美) …… 256

Support for Job-Seekers and Social Service in the United States

— Focusing on Public Libraries —

はじめに 256

1. ニューヨーク市の公共図書館 257
  - (1) ニューヨーク市の行政区と図書館システム 257
  - (2) NYPL におけるコミュニティ教育と就業支援 259
  - (3) QL におけるコミュニティ教育プログラム 261
2. ニュー・ジャージー州の公共図書館における就業支援  
— スコッチ・ブレインズ公共図書館とキャリア・ネットワーキング・グループ — 264
3. 結びに代えて 268

索引 …………… 271

執筆者一覧…………… 274